

港区職員退職者会だより

港区職員退職者会
発行 本郷真一
編集 恩田英雄



10月19日、第43回定期総会に先立ち、長寿のお祝い」が行われました。
今年、白寿・米寿・喜寿・古希の該当者は計76(氏名は7月号に掲載)名で、そのうち20名の方が出席されました。
本郷真一会長から一人一人にお祝い金を贈呈し、その後記念写真を撮りました。
記念写真には、本郷会長、武井雅昭港区長、野村まゆみ港区職労委員長も一緒に写真に収まりました。

みなさん
ますますお元気で...

★ご出席いただいた皆さんです。

★「米寿」のみなさん

黒岩とみ子さん、清水 実さん

★「喜寿」のみなさん

岩楯忠太郎さん、益川 圭司さん、
中山 清子さん、岩倉 久子さん

2014年度活動計画案、予算案、の議案は、

満場の拍手で決定されました !!

— 新役員を提案通り承認 —

をいただきました。

挨拶要旨は2頁参照)

第43回定期総会は岡部泉副会長の司会進行によりスタートしました。まずはじめにこの一年の間に物故された会員 14名の方々に對して黙祷を捧げました。
その後、議長には吉野博之さんと二戸紀宣さんの二人を選出して開会しました。
はじめに港区職員退職者会を代表して本郷真一 会長が挨拶しました。
次に来賓のご挨拶を受けました。
先ず、武井雅昭港区長から、次に野村まゆみ区職労委員長から、そして遠藤直栄自治団体退職者会都本部副会長 練馬区退職者会 からご挨拶

菅原千枝子さん、宮田 勝江さん、
藤塚賀世子さん

★「古希」のみなさん

野路やよいさん、細根 勝輔さん
内山誠一郎さん、猪瀬千寿子さん
菅原 三弥さん、竹山 敏夫さん
藤倉 莊一さん、竹島美紀子さん
矢島 美代さん、辻 寛さん
津田美奈子さん



総会への出席

ごくろうさまです。本郷会長あいさつ



今年の長寿のお祝い」に該当された方は、白寿(99歳)1名、米寿88(80歳)5名、

喜寿(77歳)28名、古希(70歳)42名でした。たいへんおめでとございました。これからもお元気で上位ランクを目指して頑張ってください。

さて、9月に総務省が発表した人口動態によれば、65歳以上の高齢者の数は3186万人に達し、日本の人口の25%、4人に1人という超高齢社会に入っています。かつて高齢者は社会的にも家庭的にも尊敬され大事にされてきましたが、今日の状況はと言え、とてもそのような状況とは言えません。

8月6日 社会保障制度改革国民会議」が総理に報告書を提出し、政府は法改正等の作業を進めています。内容が、私たちの唯一生活の糧である年金については引き下げの方向、逆に医療・介護については負担

増の方向が明確となっています。安倍内閣となって東日本大震災の復興や原発事故処理も遅々として進まず、一方で平和や憲法改悪の動向など反動化を強めています。港区職員退職者会も千名を超える組織に発展しました。会員相互の親睦や交流を強めると共に現役や全国の仲間とも連携を強めながら、諸課題に取り組んでいきます。

武井雅昭港区長のご挨拶



総会へお招きありがとうございます。ごさいま皆様には、退職後も

港区に對しお力をお借しており、感謝申し上げます。今、港区の人口は23万5千人となり、10年前と比べて、生まれてくる子供さんの数は倍に達しています。これからも心豊かに、安心して暮らせる港区を目指します。7年後のオリンピックに向けて人情味ある港区を目指していきます。退職者会の発展と本郷会長はじめ皆様の健康をお祈りしお祝いの言葉とします。」

野村まゆみ区職労委員長のご挨拶



組合員の置かれて厳しい状況の報告
◆来年3月退職者から、年金支給年齢が61歳になっていく退職手当の引き下げが決定されている◆今年の人勤で持ち家への住居手当が廃止になる」とされました。その反面、新規採用の職員が全て区職労に加入してくれた」と明るい報告もありました。『これも先輩たち皆さんが築いて来てくれた賜物です。退職者会の発展強化を祈念する』との挨拶をいただきました。

遠藤自治団体退職者会都本部副会長 練馬区退職者会のご挨拶



昨年、年金問題が大きな課題で医療費問題がどうなっているか、私たちが大きな問題になって来ています。年金で生活していく者の負担が多くなってくる。高齢者の生活を

守るため全国の退職者仲間と共にお互いに頑張りましょう。また港区退職者会より退職者会東京都本部に本郷さん、柏さん、辻さんを送り出して頂いていることに感謝申し上げます。」
来賓の挨拶の後、議長より会員総数1,025名中、出席者128名、委任状490名、合計618名で総会は成立していることが宣言されました。



議長



★柏事務局長が、13年度 平成25年度(の活動報告)を行いました。①組織の現況 会員総数1,025名

25名 ②機関運営 ★幹事会3回

★常任幹事会13回 ③活動報告

★「だより」発行5回、★定例親睦行事11件25回、★例年の集芸等を報告しました。



★その後、宮崎会計が、13年度平成25年度収支決算報告について説明があり、★続いて、大友会計監事が代表して、監査を行った結果、適正かつ正確であった」との報告がありました。



★次に辻副会長が、第1号議案14年 平成26年(6年)度の活動計画案を提案しました。



★次に辻副会長が、第1号議案14年 平成26年(6年)度の活動計画案を提案しました。

——報告は全て全体の拍手で承認されました。——

◆特徴点は、①カラー印刷化 退職者会だより」をより親しみある記事にして行く。②具体的気な取り組みの項目に新たに会員間の交流をより深めるため、学習会「暑気払い」の開催を検討し

ます。学習会も堅苦しいものではないに、参加できる学習 勉強会を検討していく。などを中心にした、6つの活動目標と10の具体的な取り組みを提案しました。

★次に宮崎会計が第2号議案14年 平成26年(6年)度の予算案 予算規模540万円)について、提案しました。

◆特徴点は、①慶弔費の対象が昨年より減少傾向にあり減額する。②区職労等のニュース配布行動等があり、事務処理の増加により行動費を増額する。③総会費の節減を目指し減額する。等の提案を行い、全体の拍手で決定されました。



★次に、★第3号議案の役員改選案)と★問並びに参与の推薦案

が、井口良夫役員選考委員会委員長から提案がされました。

◆両案件に対し、全体の拍手で可決・承認されました。

議事終了後、議長がスローガンを読み上げ全体の拍手で、6本のスローガンが採択されました。みんなの拍手で議長団の解任、降壇しました。

その後、退任役員を代表して、岡部泉さんからご挨拶を受け、第43回定期総会は終了しました。



懇親会『盛大に行われる』

総会終了後、宮田副会長の司会で懇親会が開催されました。多くの来賓の方がお見えになり、懇親会を盛り上げてくださいました。

○来賓の方々

◇港区議会議長 井筒 宣弘 様

◇港区副区長 田中 秀司 様

◇港区副区長 小柳津 明 様

◇中央ろうきん 新橋支店長 吉川 聡子 様

◇中央ろうきん お客様サービスセンター所長 三原 涼太 様

◇全労済南部支所 事業推進課長 高橋 琢磨 様

新役員です
よろしくご協力をお願いします

◆会 長 ★本郷真一

◆副会長 ★宮田勝江 ★井口良夫(新)

★渡辺孝雄(新)

★窪島博子(新)

◆事務局次長 ★柏 輝男

◆事務局次長 ★恩 田英雄

◆会 計 ★宮崎武雄

◆会計監事 ★大友正弘

★小宮山 勉 (区職労書記長)

◆常任幹事

★岡村 昭則 ★高橋 秀子

★村田 久子 ★並木 文雄

★辻 裕之(新)

★吉野 博之(新)

★洪川 峰夫(新)

◆幹 事

★鶴岡昭一郎 ★大崎 信重

★北堀 洋一 ★小山八千代

★川崎 保 ★平澤 国広

★高橋 紘紀 ★波多江 正光

★山本 治通 ★宍戸 祥子

★古山 ふぢ江 ★常盤 茂

★清田 和美 ★真継 直

★野中 英昭 ★森 マサ子(新)

★天野 芳夫(新)



副区長 田中氏



港区議会議長 井筒氏

年一回の再会を喜び、近況や現職当時の話題で会は盛り上がりました。午後5時過ぎ、渡辺孝雄新副会長の時間ですので、「ここで開きとします」の発声と一本締めで、和やかな懇親会は終了しました。ご協力ありがとうございました。



副区長 小柳氏



長寿の皆さんの
会場での言

★黒岩 とみ子さん (米寿)
これからも健康維持で頑張ります。



★清水 実さん (米寿)
久しぶりに区役所に来て、皆さんにお会いできて大変うれいす。



★細根 勝輔さん (古希)
健康第一で頑張っています。シルバークラスを有効に使っています。

★竹山 敏夫さん (古希)
懐かしい方々にお逢いでき、出席した甲斐がありました。

★菅原 三弥さん (古希)
退職10年で総会に出席。久しぶりの人達に逢って楽しい。

★藤倉 荘一さん (古希)
これからも健康第一に元気で生きていきます。

★矢島 美代さん (古希)
今日の機会を与えられ、懐かしい方達にお目にかかれた事。とてもうれしいです。

★宮田 勝江さん (喜寿)
元気で祝いの席を迎えたことに喜び、米寿で出席された方々にエネルギーを頂き、私もこれからそのように米寿を迎えられる様になりたいと思います。

★辻 寛さん (古希)
自分が古希になるとは!?

★岩楯 忠太郎さん (喜寿)
何とか元気で過ごしています。皆さんにお会いできたことに感謝です。

★益川 圭司さん (喜寿)

健康のために新橋から歩いてきましたが、街の変わりように驚きました。皆さんに会えて幸せです。

★中山 清子さん (喜寿)

お蔭さまで丈夫で毎日趣味を生かして元気に過ごしています。

★菅野 千枝子さん (喜寿)

長生きして皆さんに会えて幸せです。

★野路 やよいさん (古希)

長寿の祝い式にお招きをいただき有難うございます。健康を回復し、久しぶりに総会に出席して皆様にお会いできて大変うれしく思っています。

★猪瀬 千寿子さん (古希)

本日は、お招きいただき有難うございました。皆様、お元気で活躍の様子を拝見し、力を頂きました。会の益々のご発展をお祈りしています。

★竹島 美紀子さん (古希)

長寿の祝い式にお招きいただき有難

うございます。富山県から来て久しぶりに顔見知りの皆さんにお会いできてうれしい限りです。

★津田 美奈子さん (古希)
元気でみなさんにお会いできてうれしかったです。これからも頑張ります。

★内山 誠一郎さん (古希)

本日は、古希祝い式にお招きを受け元気に出席できたことを心よりうれしく思っております。ありがとうございました。



総会でうれしい再会あり

岡村 昭則

年一度の定期総会は退職者会最大のイベントなので、役員一体となって準備も二か月前から取組みますが、毎年このことから、オハガキによる総会出席者数や、お元気ですか」の投稿数が役員にとっては大変気になるところです。

第43回定期総会には、大勢の会員の方々の出席いただき、無事に総会を終えることができ役員一同ほっとしています。その中で私にとって一番うれしかったことが二つありましたのでご紹介させていただきます。

その1、米寿の祝いで出席をいただいた清水 実さんに28年ぶりに再会したことです。清水さんも高齢で体調も思わしくないため奥さんと娘さんに付き添われての出席でしたが、頭は冴えており、元部下の私を見るや、岡村君、元気か」と声をか



けてくれました。28年間もお会いしていませんでしたが、私が退職者会



だより編集担当者として駆け出しの頃、平成14年正月号の原稿をお願いしたら、私の絵の楽しみ方「スケッチブックを持って出掛けてみませんか」というエッセイを書いてくれました。その中で、土手下抜きにして描きなれると、自分なりの絵になりますので皆さんも描いてみませんか。」と呼びかけているのが脳裏に焼き付いています。清水さんは、その後、何度か横浜のデパートで個展を開いています。今日も増上寺大門を入れた東京タワーやレインボーブリッジを描いたスケッチを持参されたので写真に撮りました。それを紹介

介させていただきます。

また、平成15年正月号では「21世紀をポルトガルで迎えた私の旅」を寄稿していただいています。その中では、今回の旅は今迄にない感動を与えてくれた。世界の平和を願わずにはいられない」と語っているのが印象的でした。総会后、懇親会にも出席されて乾杯の音頭を取っていただきました。発声に弱々しいところがありました。頭は冴えており大変感心しました。先輩にはこれからも好きな絵を描き続け長生きされることを願うばかりです。

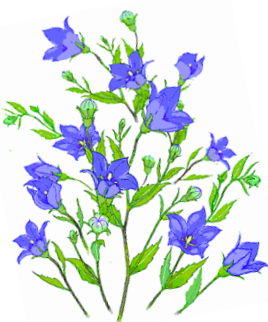
その2、2年前に突然、病に倒れ、

我々の目の前からしばらく遠ざかってしまった野路やよいさんが娘さんと総会と懇親会に出席されたことです。ご本人やご家族のことも考えてそっとしておくことが一番ではないかと思ひ、遠くから回復を祈るばかりでした。今年の年賀状は、娘さん代筆で家族に見守られ、ゆっくりと日々リハビリを頑張っていると書かれていたので、それなりに回復していることが読み取れ、会える日を心待ちにしていました。リハビリは相当な時間と忍耐を要するもので根気がなくては続かないのです。2年余でここまで回復されたのはご本人の家族のために頑張った賜物です。

野路さんは現役時代広報課で三年

間、私と一緒に仕事をした同僚で、一番楽しく仕事をした時でもあり、今でも楽しい思い出が脳裏に焼き付いています。また、野路さんは織物の先生で、私たちも色々な織物作品をいただきました。

クラブでは港区職員スキー部に所属し、スキー部主催の野沢温泉でのレクスキーに何度も参加されています。私もよく一緒に滑りました。野沢温泉スキー場の5キロのダウンストップで滑るほどのスキーヤーですからこそ、早く回復されて再び、野沢温泉で滑ればと願っていました。総会に出席できるまで回復して涙が出るほどうれしかったの一言に尽きます。



参加者募集 コーナー

皇居一周歩会

実施日 11月16日(土)

雨天の場合は自己判断

集合 JR神田駅西口、南口に通ずる改札口(東京寄り改札口)に午後3時(参加申込不要)

★初めて参加される方は、ご連絡ください。

宮崎 043・250・18315

ハイキング 港の見える丘公園〜中華街

日時 12月7日(土)

午前10時

集合 JR根岸線 石川町駅改札前

(雨天決行)

昼食 中華街(忘年会)

担当

★宮崎 043・250・18315

★岡村 048・686・0098



千葉県クラブ

ホギ美術館と昭和の森散策

実施日 11月17日(日) 10時

JR外房線土気駅改札口集合

(雨天決行)

参加費 200円

バス代往復(320円) ホギ美術館 65歳以上1,300円 (会から500円補助)

◆昼食は 各自持参。

参加申込 初めて参加される方は 担当までご連絡ください。

担当

★大槻 巖 (043・278・6700)

★宮崎 崎 (043・250・18315)

千葉県以外の方の参加も可。

◆今回の案内は大槻巖さんです。

七福神めぐり

日本橋・人形

実施日 1月9日(木)

★小雨決行

集合 日本橋橋上13時半集合

旗を目印に

行程

両国駅前まで約3時間

申込締切り 12月28日

担当 恩田 英雄

TEL 090・8013・8444

案内 説明 清田 和美さん

訃報



●三ツ島美代子 25年7月29日・90歳

●人見 秀子 25年4月4日・87歳

●松平 律子 25年7月1日・83歳

●山本 雄 25年5月6日・87歳

●知念 勝江(25年7月21日・73歳)

ご冥福をお祈りいたします

俳句

◎稲垣 愛

◆かく生きて

ここに居ります酷暑にも

◆月昇る暑さの残るほてる色

◆八月や忘却出来ぬことばかり

◆仰いでも俯しても秋の暑さかな

◆人の世に乱あり二百十日かな

◎徳竹 邦夫

◆虫の秋生演奏に浸る夜々

◆減量は明日に延ばし栗の飯

◆秋風やりハビリの道真つしぐら

◆快方に向かふ実感小鳥来る

◆いつのまにこんなところに彼岸花

朝日新聞掲載

◎米倉 和美

◆睦みつつ花舗に舞ひ込む秋の蝶

◆狛犬のつむりに跳ねて銀杏の実

◆橋の名の謂れは知らず時雨月

◆廃線の枕木ぬらす露しぐれ

◆新参も手招きされて日向ぼこ

★9月28日、国体の開会式に行ってきました。地元の味の素スタジアムは昂憤の掛橋と化して居りました。ーコメントー

◎横山 直正

◆死神も送り出しけり神無月

◆影二人寄りて動かさず小春かな

◆鮫鱈や先に逝きたるいやな奴

◆太鼓焼重き温みの伝わり来

◆日の差すも

冷えのつるや百度石

◎澤藤 盛光

◆穂は黄金林檎は赤し奥津軽

◆弥生時代の稲作跡

◆弥生人豊作祝い舞い遊ぶ

◆秋高し天守誇らぬ弘前城

◆主絶えて秋や身に入む斜陽館

◆過去は皆海鞘の苦さよ独り酒



沖縄からみた日本の民主主義

(九・一四地公三軍産・地公退高齢者集会記念講演)

岡村 昭則

沖縄と云えば、戦争を知らない世代は、青い海と美しいサンゴ礁など、豊かな自然に恵まれた日本有数の観光地をイメージするよううに沖縄を訪れる観光客は年間約四百万人を数えると云われています。

沖縄の人々は日本復帰後も、基地によるさまざまな被害に苦しまねばならない状況は今も変わっていません。

前泊博盛沖縄国際大学教授の講演を聞いていて、私は上辺だけで何も知らなかった自分に気づきました。

★現在、日本にある米軍基地の実に約75%が沖縄に集中しており、日本にいる約4万人のアメリカ兵のうち、60%以上が沖縄に駐留しています。

★なぜ沖縄に基地が集中するのか。その発端は第二次世界大戦後、沖縄はアメリカに占領されました。天皇メッセージによる米国による沖縄の長期保有の提言を受け、アメリカは引き続き沖縄を軍政下に置き、銃剣とブルドーザーによって強制的に土地を接収し基地を拡大しました。現在

は、本土との分離で核配備可能な基地運用、本土の反米軍基地運動や米軍基地負担回避による沖縄移転、朝鮮・中国脅威論に対する戦略拠点等があげられています。

★何故このような現状に至ったのか歴史を紐解けば、そこには沖縄の人々に対する差別化が見え隠れします。薩摩藩に敗れて以来、明治維新により成立した日本政府は、軍隊を派遣し首里城から国王尚泰を追放し沖縄県の設置を宣言しことから琉球王国は滅亡しました。第二次世界大戦で沖縄は、日本国内で唯一戦場となったところですが、約2カ月間の地上戦で日本人犠牲者は約二十万人に達し、一般の県民約九万四千人が含まれています。

★現在の沖縄は日米安全保障条約及び日米地位協定等に基づき、本土とは違った屈辱的な差別を受けています。基地問題の解決をめざして本格的な基地撤去運動にまで発展しましたが実現していません。

★日本という独立国の中に外国の軍隊が存在すること自体おかしな話として沖縄の人はとらえています。

★私たちは、自分に直接関係ないことや目の前に見えないことについて

はあまり関心を示さないのは当然かも知れませんが、沖縄県の基地の問題は日本国民全体の問題です。自分



に関係ないと思っている人たちの福島原発事故についても同じことが言えるのです。原発事故周辺地域の抱える苦悩に対して国民全体の関心のなさ、原発の危険性への無関心さから、政府と電力会社の対応は遅々として進まず、今回の汚水垂れ流し事故で、韓国の水産物輸入禁止まで発展しました。日本国民は騙せても世界は騙せないのです。

第14回麻雀大会報告

並木文雄

竹内氏・西村氏・高橋氏

役満連発!

10月5日(土)霧雨の中、芝大門松葉荘に男性21名(5卓)に加えて麗しき美女集団4名(1卓)の25名が集まった。

今大会で大事件が起きた!

過去13回の大会で数回しか実現しなかった大三元・四暗刻・国士無双などの大役、役満が三回も完成したのです。これは非常に稀なことだと云えます。

恩田事務局次長が見学に来場、表彰式を行い、賞品の授与をお手伝いしていただきました。

男性組

◆優勝 高橋 央

役満完成が、優勝に!

◆準優勝 井上 喜久男

◆第三位 福島 範房

◆どん尻賞 天野 芳雄

女性組

◆優勝 伊藤 昌子 初出場

◆第二位 窪島 博子の皆さんでした。

次回は、年明けの2月に実施します。

ハイキング 昭和記念公園
コスモスの花を見る会に
参加して 高橋 秀子

9月7日、集まったのは、男性10名、女性3名の計13名、立川駅に10時に集合、おいしいお弁当を購入、昭和記念公園のあけぼの口に向う。雑談の花を咲かせながら公園に着く。入園してすぐ昭和天皇記念館があり昭和天皇の自筆の文書や様々な調度品の展示、映像では、終戦後全国をまわられた様子に思い出話が出、懐かしみました。

目指すコスモスの丘は、公園の一番奥にあり、途中のピンクのサルズベリの花、赤いサルビアの花を眺め赤トンボにも出会い秋を感じました。園内には汽車を模したバスが巡回しており、お互いに手を振りあったりしました。

静かで広い公園内は、空気が気持ちよく、心が洗われた様でした。コスモスは、残念な事にまだチャリ、ホラリと咲き始めでした。満開は、中旬から下旬の様です。それを想像しながら、コスモスの丘



の前にある休憩所で、昼食を取り一休み後、日本庭園をまわり盆栽苑に寄り、見事な盆栽に感心しきり、再びあけぼの口より立川駅に戻り解散。ちよっと暑かったけれど気持ちのよい散策でした。



千葉県クラブ
「祈りの絵」展を鑑賞！
並木 文雄

参加者 宮崎・由井・加瀬・宮田・
藤倉・可児・岡村・商部・並木

実行委員として参加した無言館所蔵 長野県上田市) 戦没画学生「祈りの絵」展を8月31日から17日間に亘って開催することから、千葉県

在住の皆さんには是非観て欲しいと退職者会幹事会で提案。皆さんの賛同を得て9月1日に実施しました。つくばTX流山セントラルパーク駅に午前10時に9人が集合、戦没画学生が残した70数点の絵、家族宛に出した検閲済の軍事郵便など多数の遺品を約二時間にわたって鑑賞しました。

この「祈りの絵」展は、流山市在住の早大卒業生「稲門会」有志が三年前に開催したジョー・オダネル原爆写真展に続く催しとして企画、実行委員長の執念ともいえる取り組みに無言館館主・窪島 誠一郎氏 作家・水上 勉(の息子) の協力を得ることができ、千葉県で始めて館外開催が流山市で実現出来ました。

68年前に終わったあの戦争に徴兵され、残心多々に戦死した前途有為な画学生達。彼らの命は絶えても、作品には今もいのちが宿っています。

この機会に遺作をご覧になり、戦争の不条理、平和であることの大事さ、画学生たちの在りし日に想いを馳せて頂きたい。と開催の熱い思いを実行委員長の上谷氏は語っています。同時並行で開催した

◆9月4日 黒坂黒太郎 コカリナコンサート

◆7日 無言館」館主、窪島誠一郎 講演会

◆8日 無言館」朗読会+平和を願

う音楽のつどい、何れの催しも会場は人で溢れ、会場外に急遽モニターを設置して対処するなど来場者の評価も高く大盛況となりました。

「祈りの絵」展には、ほかに井口良夫・山本哲・古谷明夫ご夫妻 石井宏明・恩田英雄の各氏、現職の区民課、野上篤さん・金子美佐子さん・松田千文さんとお母さん 金成氏・組合書記の木村さん、老人大学で岡村氏の仲間の皆さん、私の高校時代の友人たちに鑑賞していただきました。ありがとうございました。



同期旅行会

竹山 敏夫

我々のメンバーは、昭和39年度(1964)に港区役所に配属された同期の仲間たちで、磯輝男(途中から参加)・内山忠雄(途中逝去)・榊原勝次・竹山敏夫・山本敏則・由井敏参・渡辺孝雄である。

異なるメンバーでの数回の旅行の後に、昭和47年より現在のメンバーに固定され退職後の今日までこの間、大小40回の旅行を実施しています。

記念すべき第一回目の旅行先は南紀・伊勢方面で白浜海岸での飛び入りでのボディペンティング大会参加や温泉街が前年の黒潮国体開催の影響で健全ムードであったのを覚えています。翌年の式年遷宮を控えた伊勢神宮を参拝した後で途中下車して無理をして食べた本場松坂牛が美味しかったことなどが思い出されます。最新は、昨年の伊豆多賀への一泊旅行で久しぶりに全員が揃い行ききの列車内から宴会が始まり昔の旅行の思い出話などで盛り上がりました。残念なのは、平成元年の会津若松旅行が我々の良き仲間であった内山君との

最後の旅行となったことです。もう4分の1世紀を過ぎたかと思うと月日の経つのは本当に早いものと感じます。

旅行会は、現役時代は夏季休暇を利用しての二泊三日旅行と忘年・新年会を兼ねた「泊旅行」とをほぼ毎年実施していました。会費は毎月とボーナス月に徴収積立をし、幹事は持ち回りで担当しました。

当初は幹事が旅行計画し時刻表片手に作成し、宿泊先や切符などの手配をしました。途中から大手旅行会社のツアーに参加するようになり幹事の負担も大分軽減されるようになりました。ひと苦労なのは日程調整で、都合悪い者が1名の場合は決行し、2名以上の場合は再調整をして実施しました。



勤務等の関係でフルメンバーで行けたのは7割程度で、全回参加できているのは1名だけです。旅行先は、記録を見ると北海道から沖縄まで47都道府県をほぼ宿泊若しくは観光等で通り過ぎています。中には旅行中に台風のために一部行き先が変更になったことや我々グループのことが旅行会社の定期誌に載ったこともありました。



退職後は、体力や財力等の関係で現役時代のように毎年実施することが出来なくなったのが残念であります。今回本稿を書くにあたり、押入れ奥にしまったままのアルバムを

数十年ぶりに出し当時の写真を見てみると若い頃の写真ではみんな黒髪豊かで細身の体形であったことが懐かしく、現在の姿と比べ改めて思いました。最後に、不思議なのは海外に一度も行っていないことです。我が青春の思い出を作ってくれたメンバーそして会計として本会を支えてくれた「なべさん」に感謝。

中央ろうきん友の会
新橋支部総会報告
恩田 英雄

9月6日 金 グリラ豪雨、竜巻が各地で災害をもたらした合間の日、明治座で「友の会新橋支部総会」が開かれました。私たちが役員所OBの仲間も奥さんを同伴するなど15名が参加しました。総会は、2012年度の活動報告、決算・監査報告を承認し、新年度の活動計画(案)等も全体の拍手で承認しました。役員改選があり、当退職者会の古山ふぢ江さんが新たに会計監査としてご苦労願うことになりました。

総会後は「石川 さゆりショウ」を全員で楽しみ、



満足の日を過ごしました。